

ノビタキ

(学名: *Saxicola torquatus*)

(写真・文 太田祥作)

【スズメ目ヒタキ科】



▲ 冬羽の成鳥雄。雄は顔が黒っぽい。草地の中でも見晴らしの良い場所によくとまる

▲ 冬羽の若鳥。休耕地のヨシ群落において茶系の羽色は優れた保護色となる

秋は渡り鳥の観察に適した季節です。「渡り鳥」という言葉は秋の季語としても知られています。今回紹介するノビタキも渡り鳥で、国内では本州の高原と北海道を繁殖地、本州以南の平地を渡りの中継地、中国南部やインドシナを越冬地とし、只見町では9月下旬から10月に観察できます。一見地味な茶系の色彩をしていますが、この羽色は非繁殖期を過ごす「冬羽」の仕様で、秋冬の枯草色の背景によく溶け込みます。

ノビタキの名は「野のヒタキ類」を意味しており、森林性の種が多いヒタキ類では珍しく草地を好みます。只見町内では休耕地や河川敷の草地に多いほか、稲刈り前の田んぼやエゴマ畑にもふつうに姿を見せる身近な小鳥です。ひときわ丈のある草の上や、杭の突端のような目立つ場所にとまり「ジャツ、ジャツ」と鳴くため、地味な割には見つけやすいと言えるでしょう。ノビタキが姿を消す頃、紅葉が里地まで降りてきて、秋はいよいよ終盤を迎えます。

只見町ブナセンターからのお知らせ

只見町ブナセンター附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画を開催します。詳しくは只見町ブナセンター(TEL 72-8355)までお問合せください。

講座「ブナを利用する昆虫たち」

講師：三田村 敏正 氏

日時：2021年10月23日(土) 13:30~15:30

場所：只見振興センター1階ホール

観察会「恵みの森で紅葉のブナを見よう」(要事前申込)

日時：2021年10月24日(日) 9:00~12:00

場所：恵みの森

参加費：高校生以上400円、小・中学生300円、

町内在住の小・中学生、高校生100円